

# 研究結果報告要領

公益財団法人 三井住友海上福祉財団

研究者は「研究結果報告書」（和文または英文）と「研究助成金使途報告書」を、下記の記載要領に留意して作成し、当財団へ提出願います。和文の「研究結果報告書」には英文の「アブストラクト」を添付ください。なお、より確実な授受のため、添付の送り状（書式1）をご使用ください。

## 記

### I. 研究結果報告書

1. 用紙サイズはA4版縦。内容（図表、写真、参考文献等も含む）を4ページ以内にまとめる。研究課題、研究者の所属・役職・氏名、抄録は縦1段組、1行に全角では40字、半角では70字程度で記載。報告書本文は原則として縦2段組、1行に全角で20字、半角では30字程度で記載。
2. 記述の順序・内容
  - (1) 研究結果報告書（和文）・・・添付（書式2）参照
    - (a) 研究課題：大文字（フォント）とする。
    - (b) 代表研究者（および共同研究者）の所属、役職、氏名
    - (c) 【抄録】：400字以内で研究の概要と結論をまとめる。
    - (d) 1. 研究の目的
    - (e) 2. 研究の方法・経過
    - (f) 3. 研究の成果
    - (g) 4. 今後の課題
    - (h) 5. 研究結果の公表方法
  - (2) 研究結果報告書（英文）・・・添付（書式3）参照
    - (a) Title：本文より大きなフォントとする。
    - (b) Primary Researcher: Name, Affiliation  
Co-researcher(s): Name, Affiliation
    - (c) Abstract
    - (d) 1. Aim of Research
    - (e) 2. Method of Research & Progression
    - (f) 3. Results of Research
    - (g) 4. Future Areas to Take Note of, and Going Forward
    - (h) 5. Means of Official Announcement of Research Results
3. アブストラクト（英文）・・・添付（書式4）参照  
和文の「研究結果報告書」を作成する場合に作成・添付する。  
用紙サイズはA4版縦。1段組、1行70字（半角）程度。  
研究課題（本文より大きなフォントとする）、研究者の所属・役職・氏名、抄録を英文で記載する。抄録の内容は研究結果報告書（和文）と同一にする。

### II. 研究助成金使途報告書

1. 用紙サイズはA4判。添付（書式5）に準じて作成し、記名する。
2. 申請書の使途計画案と対比できるように記載する。
3. 機材備品費で1件10万円以上の物については、領収証（写で可）を添付のこと。
4. 研究終了時に剰余金が生じた場合は、当財団へ返還する。

#### 【注意】

応募要項に記載のとおり、研究者が所属する組織の間接経費および一般管理費（いわゆるオーバーヘッド）は、助成金の対象ではありません。

### Ⅲ. 提出方法

1. 書式1の送り状、Ⅰの研究結果報告書、Ⅱの助成金使途報告書の各電子ファイルを電子メールで三井住友海上福祉財団・事務局へ送付。研究結果報告の電子ファイル容量が大きい等のため、電子メールで送受信できない場合には、研究結果報告書類を郵送(以下3を参照)。  
電子メール送付先：msi\_fukushi@ms-ins.net
2. 提出期限：助成申請書記載の「研究期間」終了日から1カ月以内に提出のこと。  
万一、計画どおりに研究が進行せずに結果報告書の提出が遅れる場合は、研究期間の延長の理由を書面にてご連絡いただき、当財団がやむを得ないと判断した場合に承認します。(報告書が提出されない場合は助成金を返還いただきます。)
3. 郵送による提出：書式1の送り状、Ⅰの研究結果報告書、Ⅱの助成金使途報告書各1部と、これらの電子ファイルを保存したCD,DVDなどの電子記録媒体を以下へ郵送。

公益財団法人 三井住友海上福祉財団  
〒101-8011 東京都千代田区神田駿河台 3-9  
(TEL:03-3259-1609)

### Ⅳ.備考

1. 後日、学会誌への論文、あるいは刊行物等として発表される場合は、当財団の助成を受けた旨を付記願います。また発表されたものの写しを当財団へご送付ください。
2. ご提出いただく報告書は、当財団のオフィシャルサイト等にも掲載するとともに、研究結果報告書集を関係機関等へ配布します。報告書作成にあたっては、いわゆる「差別用語・不快語・ジェンダー平等に抵触する用語」などにご留意をお願いいたします。

以 上

(23.11)

# (書式 1 : 研究結果報告送り状)

年 月 日

公益財団法人 三井住友海上福祉財団 宛

代表研究者

\_\_\_\_\_ ○ ○ ○ ○

## 研究結果報告・送り状

研究助成の終了にあたり、以下のとおり研究結果報告書類を提出します。

### 1. 研究結果報告書・研究助成金使途報告書

研究結果報告書の三井住友海上福祉財団のオフィシャルサイトでの公開は、

- ①即時可です。
- ②研究結果報告書集発行後にしてください。  
理由：

※該当に○をつけ、②の場合にはその理由をご記入ください。  
(早期公開にご協力をお願いします。)

研究結果報告書・研究助成金使途報告書の電子データは、

- ①電子メールで提出します。
- ②添付の記憶媒体( CD ・ DVD ・USB メモリ ・ その他( ) )  
にて提出します。また、研究結果報告書、研究助成金使途報告書各 1 部を同送しま  
す。

※該当に○をつけ、その他の場合には( ) 内に媒体種類名称をご記入  
ください。

### 2. 英文アブストラクト

- ①英文アブストラクトを研究結果報告書と同様に提出します。
- ②作成していません(研究結果報告書を英語で作成しました)。

※該当に○をつけてください。

以上

(書式 2 : 研究結果報告書 (和文))

年 月 日

<研究課題> ○○○○○○○○○○○○○○○○○

代表研究者 ○○大学大学院○○研究科 准教授 三住 一郎  
共同研究者 ××大学大学院××研究科 講師 丸山 二郎  
△△大学△△学科 助教 甲野 乙江

【抄録】

あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもらりるれろ  
よゆよわをん。

400字以内を目安に記載。

1. 研究の目的

1-1 ○×○×○×

あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもらりるれろ

1-2 ××○○

3. 研究の成果

3-1 ○○××

3-2 ××○○

2. 研究方法と経過

2-1 ○○×××

2-2 ×○○

2-3 ○×××

3-3 ○×××

4. 今後の課題

5. 研究成果の公表方法

以上

《以上全体を A4 版 4 ページ以内にまとめる。原則として  
縦 2 段組、1 行 20 字。表題のフォントは大きく。》

## (Title of the research)

**Primary Researcher:** (name of primary researcher)  
(job title), (name of organization)  
**Co-researchers:** (name of co-researcher)  
(job title), (name of organization)  
(name of co-researcher)  
(job title), (name of organization)

### Abstract

1234567890ABCDEFGHIJKLMNQRSTUvwxyz12345678

### 1. Aim of Research

1-1 ○×○×○×  
1234567890ABCDEFGHIJKLMNQRST  
UVWXYZabcdefghijklnopqrstuvwxy1234  
567890

3-2 ××○○

1-2 ××○○

3-3 ○×××

### 2. Method of Research & Progression

2-1 ○○×××

### 4. Future Area to Take Note of, and Going Forward

2-2 ×○○

### 5. Means of Official Announcement of Research Results

2-3 ○×××

### 3. Results of Research

3-1 ○○××

《以上全体を A4 版 4 ページ以内にまとめる。本文は原則として縦 2 段組、1 行 30 字。研究課題名のフォントは大きく。》

(書式4 : アブストラクト (英文))

**(Title of the research)**

**Primary Researcher:** (name of primary researcher)  
(job title), (name of organization)

**Co-researchers:** (name of co-researcher)  
(job title), (name of organization)  
(name of co-researcher)  
(job title), (name of organization)

1234567890abcdefghijklmnopqrstuvwxyzABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ123456789

《研究課題名のフォントは大きく。》

(書式5 : 研究助成金使途報告書)

年 月 日

公益財団法人 三井住友海上福祉財団 御中

代表研究者 (または申請経理担当者)

\_\_\_\_\_ ○ ○ ○ ○

研究助成金使途報告書

下記のとおり支出したことを報告します。

(申請額 : \_\_\_\_\_万円) 助成金額 : \_\_\_\_\_万円  
(注1)

費 目	申請額 (注1)	使途実績 (注2)	実績摘要 (単価・個数等)
<機材備品費> (注3) ○○○○装置	円	円	
<経 費> 消耗品 実験動物 試薬  旅費 調査旅費  謝金 研究補助、アルバイト ×××××  印刷複写費  文献資料 参考書代  会議費 研究打合せ  その他 ×××××			単価○○円×○○匹 単価△△円×△△個  00 県 00 市 0 年 00 月 ( 0 泊 0 日)  000 円/日・人×00 日×00 人  000 円/日・人× 0 日× 0 人  00 円/枚×00 枚
合 計			
他団体等から調達・自費			
研究費総額			

(注1) 申請額は助成申請書中の助成希望金額。

(注2) 使途実績の合計が助成金額を下回った場合には、差額を当財団へ返還。

(注3) 機材備品費で1件10万円以上の物については、領収証(写)を添付願います。